

令和6年度 シラバス兼授業計画書

学科名	未来観光ビジネス学科	科目名	観光DX I		
授業種類	講義	履修区分	必修	履修時期	通年
授業時間	60単位時間	担当教員	酒井智昭		
授業内容	《授業概要》				
	<p>本授業では、DX(デジタルトランスフォーメーション)を通して、IT戦略やマネジメント論を学びます。デジタル化による業務効率化や新たなビジネスモデルの創出は、企業にとって大きな課題であり、DX人材の価値は高まってきています。デジタルの知識だけではなく、DXプロジェクトの推進方法についても習得します。</p>				
授業内容	《学習の到達目標》				
	<p>1 DXに関連する基本的な用語と一般的な進め方について理解する。</p> <p>2 デジタル化について、組織のもつ課題の洗い出しと対処法の発案と計画ができる。</p>				
授業計画					
前期			後期		
1	DXの基本	16	DX推進における企業の課題		
2	世界中の人々をつなげるビジネス	17	DXの大まかな進め方を決める		
3	バーチャル空間を活用したビジネス	18	デジタルツールの活用度合いを確認する		
4	システム導入による作業の効率化	19	DXの計画を立てる①		
5	人による作業のデジタル化	20	DXの計画を立てる②		
6	企業と顧客をつなげるサービス	21	RPAとBIツール		
7	販売管理システムによるロスの削減	22	デジタルツールの選定		
8	シェアサービス、レンタルサービス	23	DXの事例		
9	IoT	24	DX推進における課題への対処法		
10	ビッグデータを活用したサービス	25	DXの進め方①		
11	ITビジネスの連動	26	DXの進め方②		
12	ビジネスの要件	27	企業でよく使われているデジタルツール①		
13	DXの実現方法	28	企業でよく使われているデジタルツール②		
14	前期振り返り・復習①	29	後期振り返り・復習①		
15	前期振り返り・復習②	30	後期振り返り・復習②		
前期試験			後期試験		
教科書 参考書	<p>教科書 DXビジネスモデル 80事例に学ぶ利益を生み出す攻めの戦略 著者:小野塚征志 インプレス</p> <p>教科書 担当者になったら知っておきたい 中堅・中小企業のための「DX」実践講座 著者:船井総合研究所 デジタルイノベーションラボ 日本実業出版社</p>				
成績評価	<p>成績評価方法</p> <p>1.授業態度 20%</p> <p>2.前期試験と後期試験 80%</p>				
履修上の留意点	常に最新のテクノロジーに関心を持ちながら学んでください。				